

# ブルーサークル山口第16回糖尿病看護研修会のご案内

## テーマ「糖尿病患者のフィジカルアセスメント」

主催：ブルーサークル山口

共催：日本糖尿病教育・看護学会

医師の働き方改革が推進されるとともに、メディカルスタッフとのタスクシフトやタスクシェアが進んできています。その影響は糖尿病療養支援においても血糖管理も重要ですが、糖尿病患者は動脈硬化疾患や感染症、がんなどのリスクも高く、フィジカルアセスメントのスキルが求められる場面も多々あります。今回の研修ではフィジカルアセスメントを実践されている先生方からその実際や方法について学び、臨床にいかしていただきたいと思い、研修を企画いたしました。多くの方のご参加をお待ちしています。

### <研修目的>

- 1) 糖尿病患者のフィジカルアセスメントの必要性について学ぶ
- 2) 看護師・管理栄養士・理学療法士が行うフィジカルアセスメントについて学ぶ
- 3) フィジカルアセスメントが活用できる場面について共有できる

### <開催概要>

日時：2024年1月21日（日）13時（受付開始12時30分）～16時20分

会場：KDDI 維新ホール 研修室（現地開催）

定員：60名（1月7日締め切り。先着順：定員になり次第締め切らせていただきます）

参加費：ブルーサークル山口会員 3000円、非会員 4000円

### 取得予定単位：●日本糖尿病療養指導士 認定更新のための研修会

〈第1群〉看護職2単位（申請中）または

〈第2群〉日本糖尿病療養指導士認定機構1単位（申請中）

●やまぐち糖尿病療養指導士 1単位（申請中）

\*注 遅刻・早退は単位が発行されません

### <申し込み方法>

右のQRコードから必要事項を入力してください。

必要事項：①氏名 ②ブルーサークル山口会員の有無 ③性別 ④電話番号

⑤メールアドレス ⑥所属施設名 ⑦職種

<参加費の振込>参加費は1月14日までに、参加者のお名前でお振込ください。

振込金融機関 ゆうちょ銀行 口座番号 記号 15530 番号 30525721

受取人 ブルーサークルヤマグチ

【店名】五五八（読み ゴゴハチ）【店番】558

【預金種目】普通預金【口座番号】3052572



<キャンセルについて>連絡先 中山法子（携帯 080-3884-0315）

・悪天候等の都合で開催中止となった場合は、全額返金させていただきます。

・振込後にキャンセルする場合、

1月18日までなら返金手続きに伴う手数料のみ差し引いて返金、1月19日以降は返金しません

災害や悪天候等で研修会の開催が懸念される際には、ブルーサークル山口のHP

（<http://bcy.umin.jp>）かブルーサークル山口公式LINEに中止のご案内を掲示します。研修会当日朝8時以降にご確認ください。（早めに中止を決定した場合には、「最終決定」として前日夜に提示することもありますので随時ご確認ください。

研修会事務局（問い合わせ先）：糖尿病ケアサポートオフィス 中山法子

mail : [dmcare@c-able.ne.jp](mailto:dmcare@c-able.ne.jp) 携帯 : 080-3884-0315

<プログラム>

13:00～13:05	<p>開催挨拶</p> <p>ブルーサークル山口会長 糖尿病看護認定看護師 中山法子</p>
13:05～13:35	<p>特別講演「糖尿病療養指導士に期待されること」</p> <p>糖尿病治療はチーム医療の先駆けであり、多職種がそれぞれの専門性を発揮し、連携しながら、糖尿病患者のテーラーメイドの治療やケアを提供しています。また、医師の働き方改革が進む中、タスクシフトやタスクシェアが求められており、糖尿病療養指導士の役割拡大も今後ますます進むことが予測されます。糖尿病専門医の立場からこれからの糖尿病療養指導士に期待されることを学びます。</p> <p>座長：浅江文枝（山口大学医学部附属病院 糖尿病看護認定看護師）</p> <p>講師：太田康晴（山口大学医学部医学科病態制御内科学講座教授 医師）</p>
13:35～14:50	<p>研修①糖尿病患者のフィジカルアセスメントの必要性と実際</p> <p>糖尿病患者の療養指導中や病棟業務のラウンド中に、さまざまな訴えや、なんとなくいつもと様子が違うなどフィジカルアセスメントが必要になる場面が多くあります。看護師の視点から臨床に活かせるフィジカルアセスメントのスキルを学びます。</p> <p>座長：實近彩子（徳山中央病院 糖尿病看護認定看護師）</p> <p>講師：原光明先生（黒木記念病院 教育師長・診療看護師（NP））</p>
14:50～15:00	<p>休憩</p>
15:00～15:30	<p>研修②「管理栄養士からみる糖尿病患者のからだ」</p> <p>高齢糖尿病患者の QOL の維持には、血糖管理や細小血管合併症の管理だけでなく、フレイルやサルコペニアの予防が重要になってきます。管理栄養士の立場から、他職種でも活用できる糖尿病患者のフィジカルアセスメントと食事療法について学びます。</p> <p>座長：安田直子（済生会下関病院 糖尿病看護認定看護師）</p> <p>講師：松村史樹（食のこんしえるじゅ代表・管理栄養士）</p>
15:30～16:00	<p>研修③「理学療法士からみる糖尿病患者のからだ」</p> <p>運動療法の指導をする際に、運動器のアセスメントは重要です。また糖尿病患者の高齢化に伴い運動器に関する症状やさまざまな要因による神経障害を有する方が増加しています。理学療法士の視点から他職種でも活用できる糖尿病患者のフィジカルアセスメントについて学びます。</p> <p>座長：澤山恵（山口赤十字病院 糖尿病看護認定看護師）</p> <p>講師：林瑞恵（防府市リハビリテーション専門職協議会 理学療法士）</p>
16:00～16:15	<p>ペアワーク</p> <p>「糖尿病患者のフィジカルアセスメント、明日からできそうなこと」</p> <p>司会・進行：松尾和奏（なかもり内科クリニック 日本糖尿病療養指導士 看護師）</p> <p>ファシリテーター：看護師 松尾和奏、看護師 中山法子、看護師 實近彩子、看護師 安田直子、看護師 澤山恵、看護師 浅江文枝</p> <p>事例紹介：2分（糖尿病ケアサポートオフィス 糖尿病看護認定看護師 中山法子）</p> <p>ペアワーク：10分</p> <p>講評：3分（糖尿病ケアサポートオフィス 糖尿病看護認定看護師 中山法子）</p> <p>二人一組で、患者役と糖尿病療養指導士役となって事例の糖尿病患者のフィジカルアセスメントを行ってみましょう。できるところまで実際にやってみましょう。</p>
16:15～16:20	<p>閉会挨拶</p> <p>ブルーサークル山口会長 糖尿病看護認定師 中山法子</p>